

史学委員会教育現場・社会における歴史実践と歴史認識に関する分科会
(第26期・第2回)
議事要旨

日 時：令和5年6月16日（日）14：00～17：15

場 所：オンライン（Zoom）開催

出席者：大橋 幸泰（世話人）、小田中 直樹、飯塚 一幸、石居 人也、奥村弘、加藤 圭木、鎌倉 佐保、川島 真、河西 秀哉、京樂 真帆子、栗田 禎子、久留島 典子、小嶋 茂稔、小浜 正子、近藤 孝弘、坂井 俊樹、佐野 正博、三時 眞貴子、鈴木 茂、高橋 博子、都丸 潤子、中村 元哉、林 佳世子、平野 千果子、若尾 政希（以上、25名）

欠席者： 中野 聡

議題

1. 前回の議事録の確認

前回議事要旨の確認を行い、承認された。

2. 歴史教育シンポジウムについて

2024年10月27日（日）一橋大学+オンラインで開催される日本歴史学協会主催「歴史総合・日本史探究・世界史探究の資史料を使う」について、日本学術会議として共催することが承認された。

3. 歴史の教員養成について

第一報告：三時眞貴子（広島大学）「地理歴史教員養成の課題」

第二報告：小嶋茂稔（東京学芸大学）「歴史の教員養成について」

二つの報告をもとに、意見交換、議論を行った。

4. パブリック・ヒストリーについて

第一報告：京樂真帆子（滋賀県立大学）「歴史観を創造・共有できるのか？—映画『祇園祭』を事例に」

第二報告：加藤圭木（一橋大学）「ゼミ活動とパブリック・ヒストリー」

二つの報告をもとに、意見交換、議論を行った。

今後の分科会の方向性について、引き続き、メール等で意見交換を続けることが承認された。